

南白小の未来をえがく！

令和5年2月24日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

～子供たちの未来が明るくなるように～

第22号

もうすぐ春だよ！ 小さな春を見つけよう！

冬萌えの 藍の花もつ 何の草 (室生 犀星)

2月13日
(月)の全校朝

会で、紹介した俳句です。

「冬萌え」は、植物が芽吹き花を咲かせる様子で、春の季語です。自宅の庭に咲いていた「イヌノフグリ」の紹介をしました。せせらぎ広場にも「イヌノフグリ」を見つけられました。小さな春を見つけてみようと話しました。自然に目を向けると、とても豊かな心もちになります。



小さな春 イヌノフグリ

6年…音楽「ふるさと」 人々の思いが伝わるように歌う

誰もが知っている 「ふるさと」を歌う

兎(うさぎ)追いし かの山 小鮎(こぶな)釣りし かの川
夢は今もめぐりて **忘れがたき ふるさと(山場 大きく響く)**



コロナ禍で一番影響を受けたのは、音楽です。歌唱や息を使う楽器等ができない時期がありました。

今はマスクを着用していますが、歌うことができます。

歌唱では、どんなふうに歌うか、自分たちで考えて歌います。音楽も思考が必要です。自分の考えをタブレットに書き込んでいきます。グループごとに交流し、それをもとに班で歌う学習です。教員からは『最後の「忘れがたき ふるさと」が山場で、ここで大きな響く

声を出す。そのために、深く息を吸う。』という指導がありました。グループごとの練習でも、「ふるさと」の伴奏をタブレットで聞き、練習します。(音が小さかったことが、残念でした。)緊張しながら班ごとに歌う様子を見てみると、子供のドキドキが伝わってきました。このドキドキが、子供を成長させると思いました。

6年…図工「南白鳥獣戯画」 自分の思いを表す

自分の思いを大事にする

- ・自分の思いを生かした**創造的な活動を楽しむ(態度)**
- ・自分の思いを基に**表し方などを工夫する(思考)**
- ・自分の思いを基に活動を充実させ、**自分らしくつくり表したりする技能を育成する(技能)**

自分の思いを絵や立体で表すため、自分らしく作品を楽しく仕上げたり、表し方を工夫したりする技能を身に付ける教科です。

平安後期から鎌倉前期にかけて制作された、京都市右京区の高山寺に伝わる戯画絵



巻を参考に、自分らしく表現していきます。ある作品に敬意を表し、引用して作品を作成することを「オマージュ」と言います。「鳥獣戯画」をタブレットで見ながらストーリーを考え、下がきする子供、

墨絵を出し、「ぼかし」「にじみ」「かすみ」「ふでの動かし方」などの技能を活用していく子供など、活動場面は違います。しかし、**自分らしさ(自分の思い)を表現している6年生、よい雰囲気です。**